

表彰おめでとうございます！

ダブルシュークリーム
小磯代表

ちょっと
聞かせて

すず音
藤井代表

A: 使い勝手のよい福祉用具を目指し、制作者と使用者が試行錯誤する過程を生クリームとカスタードクリームの相乗効果でおいしいダブルシュークリームに例えました。

1) グループ名の由来

A: 鈴鹿の「すず」と語り「音」より命名しました。
(平成24年1月菰野町語り真菰の会から独立)

A: 社協主催<もの作り養成講座>を受講。その4年前の設立時は、病院の作業療法士・リハビリ患者・社協職員などのメンバーでの自助具作りから始めたそうです。

2) 活動のきっかけ

A: 図書館ボランティア団体に加入。年に3回発表することに。3回の内、10月は発表会とし、地域に呼びかけ普及しました。

A: 団体としての表彰ですが、私事のように喜んでくれて、お祝いに1泊旅行に招待してくれました。

3) ご家族の反応 (表彰や活動について)

A: 孫の学童クラブで、夏休み、「語りをして」と依頼されました。

A: 社協の皆さんが、表彰を自分のことのように喜んでくれたことと、無償で協力してくれている会員と祝賀ランチパーティーを開催できたことです。

4) 一番嬉しかったこと

A: 発表会で高評価をもらい語りを喜ばれたことです。

A: 依頼窓口の社協との関係が強いです。年1回の福祉機器フォーラムを通じ、県(身体障害者センター)や桑名市の団体と接点があります。

5) 国・県・市・ 他グループとの関わり

A: 特にはありませんが、市内の高齢者サロンなど、依頼があれば参加します。

A: 近年、介護施設の増加や市販の福祉用具の充実などにより、障がい者の不自由度は大幅に改善され、ボランティアによる自助具制作の必要性が低下しています。今後は、所有する道工具を活かした活動を模索する必要性があります。

6) 今後の課題

A: 暗記が苦手・あがる・活動場所への移動の問題などの理由から、新しい会員がなかなか増えないことです。あがるのは、最初は誰でも同じです。

A: 社協内に専用個室を持ち、道工具も揃っていることです。

7) アピール ポイント

A: 会員5名、各地の民話が少しずつできるようになり、開催場所で喜ばれています。

ご連絡

社協様の「ボランティア通信」と同様に、この「The ぼらんていーあ」もペーパーレス化を検討中です。団体代表さま・個人ボランティアの皆さまの中で、今までどおり印刷したものが必要という方は、社協様を通じてご連絡をいただくとありがたいです。よろしくお願いいたします。